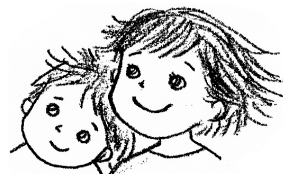


飯能市消費者団体連絡会 会報

No.33

しょうだんれん（消団連）

はんのう消費者便り



2014 年 8 月 15 日発行
事務局 090-5324-6412 川野

特集 暴走する生命 トークセッション 飯能から考えよう 食と農の安全のために

3 月 22 日、飯能市消費者団体連絡会主催で「飯能から考えよう 食と農の安全のために」映画とトークセッション」という催しを開きました。上映したのは『暴走する生命』。遺伝子組み換えの実態とそれがもたらす健康や環境への影響を問うドキュメンタリーです。私たちの生命を支える食と農の世界で何が起きているかを知り、何ができるかを身近な地域から考えようという趣旨でした。

大木有子（当日司会）

私 たちの多くは、豆腐や納豆を買うとき「遺伝子組み換えでない」と記されたものを選びます。でも日本人は世界で一番多く遺伝子組み換え食物を食べている、とも言われています。日本では遺伝子組み換え（GM）作物は試験を除いては栽培されていません。けれども醤油やサラダ油をはじめ多くの加工食品の原料になり、家畜の飼料でもある大豆やトウモロコシ、菜種などは米国やカナダから輸入しています。この大半がいまや GM 作物なのです。

遺伝子組み換えの表示義務があるのはごく少数の食品に限られます。表示制度の緩さと食料自給率の低さゆえに、私たちは知らず知らずに GM 食品を食べさせられているわけです。

遺 伝子組み換えは、通常の品種改良とは異なります。特定の遺伝子を種の垣根を越えて組み入れ、例えばヒトの遺伝子をブタに組み込むなど、都合のよい生物をつくりだす技術です。GM 作物が市場に導入されたのは 1996 年からです。GM 作物を長期間食べ続けた時どんな影響が出るのか。アレルギーや免疫力の低下、癌の原因、などが懸念されていますが、安全テストも経ずに商品として売り出されてきました。『暴走する生命』に登場する科学者や環境活動家たちは、この技術が民主主義的な議論も決定も経ずに導入されたことを批判します。

強力な除草剤にも枯れない大豆や菜種。自ら害虫を殺すトウモロコシや綿。これらの GM 種子を購入した農家は、契約により作物を育てて自家採種するという権利を奪われ、翌年も企業から種子を購入しなければならなくなりま

す。伝統的な農業が失われ、長い年月をかけてそれぞれの土地で育てられてきた種子の多様性が失われつつあります。

多 国籍バイオ企業は今、あらゆる種類の遺伝子に「特許」を取り、生物そのものを自分達の占有物にしようと競争しています。遺伝子組み換えは植物だけでなく、動物にまで及んでいることを映画は伝えます。ヒトの成長遺伝子を組み込まれ筋肉を増大させたブタ。通常の半分の生育期間で 6 倍にも成長する鮭。「何でもできる」と。

しかし現実には、GM 作物の畑では除草剤に耐性を持った雑草や、殺虫成分に耐性を持つて



映画「暴走する生命」より
ヴァンダナ・シヴァ（物理学者・環境活動家）

まった害虫が農民たちを苦しめています。そして GM 作物の花粉や種子は風に運ばれ、隣接する有機農家の畑まで汚染しています。いったん自然界に放たれた GM 生物は人間にはコントロールできないのです。この現実を前に、農民や消費者はどうするべきか、そもそも生命とは誰のものなのか、映画は問いかけます。

不 安なものではない、食べ物の中身を知ることが譲り渡すことのできない消費者の権利です。そのためには、食べ物がどのように生産されているかをできるだけ身近に知っておきたいと感じます。そして自分が食べている生き物にも、その身一つの守るべき命があることを自覚したいと思っています。

◇◇◇◇

上 映のあとは、飯能在住の 4 人のパネラーによるトークセッション。無農薬無肥料の「自然栽培」で「固定種」野菜を栽培する小島農園の小島さん。地域の特性を生かした農業を推進する飯能市農林課の太幡さん。消団連の会員でお茶の生産者でもある木崎さん。『暴走する生命』の日本語版を制作した小林大木企画の小林さん。それぞれの活動や思いを語っていただきました。



農業って面白くておいしいですよ

小島直子

2013年3月から農業をはじめた小島農園の小島直子です。それまでは、夫婦ともにコンピュータ関連の仕事をしていました。

農業は大変とされていますが、家族4人、毎日畑で楽しく過ごしています。農業は、コンピュータの仕事よりも多面的に頭を使う必要があつて、すごく面白いです。そして、畑にいくと、土、太陽、植物、いろいろなものから力をもらいます。おいしい野菜をたくさん食べると元気がわいてきます。たくさんの人に、こんな素敵な体験をしてもらいたいなと思っています。家庭菜園、市民農園など、少しからでも、ぜひ自分の食べるものを育ててみてください。そして固定種野菜を育ててみてください。個性的なお野菜がたくさんありますよ。



飯能から考えよう 食と農の安全のために～トークセッション



映画でも印象に残っているのは、インドのヴァンダナ・シヴァさんです。種を支配しようとしている多国籍企業に対抗して、種を守る活動をしていました。農民を愛して、20年以上も農民とともに生きているたくましい女性。私も、次々と途絶えていく固定種野菜を育てて、種をつなぎ、未来に残したいと思っています。種だけではなく、昔からの農業の技術（例えば、くわの使い方やさつまいもの保存方法など）も一緒に。

「食の安全」を求めるということ

木崎久美子

私は飯能市消費者団体連絡会の会員です。消費者としての参加でしたが、生産者でもありますので両方の立場での発言をさせて頂きました。

食の安全を求めるとき、「遺伝子組み換え」「農薬」「添加物」を意識してきましたが福島原発事故以降は、「放射能」のことも気になっていきます。

お茶の生産をしている私は原発事故後、大変不安になり、製茶の放射能測定を「有害化学物質削減ネットワーク」に依頼しました。

結果はセシウム合算値が1700 Bq/kg。ただこの結果がどのくらいのレベルのものなのか判断できませんでしたので、事故以前の値を調べました。（下表参照）2009年の人間産製茶のセシウム137の値が0.17 Bq/kgということを知り、大変ショックを受けました。ですから、毎年、製茶を測定しています。

（12年263 Bq 13年61 Bq）
私たちが食べる物によって、私たちの体は作られていきます。で

セシウム値（Cs137）を比較してみました 木崎久美子

単位 Bq/kg

放射能で汚染された年	測定物	製茶	土壌	畑
米国ソ連等の核実験時（～1963）		140 入間 1963	21 大里郡 1963	11 東京 1967
チェルノブイリ事故直後1986		79 入間 1986	14 さいたま 1986	6.5 埼玉 1986
福島第一原発事故	前	0.17 入間 2009	2.3 新宿 2010	2.7 埼玉 2009
	後	920 飯能 2011	330 飯能 2013	53 飯能 2013

ショック

Cs137とCs134の合算値は 1700Bq/kg

*福島原発事故以前のデータ…『ようこそ「日本の環境放射能と放射線」ホームページより』

*福島原発事故後の測定値（飯能）は「NPO 有害化学物質削減ネットワーク」に依頼した。

*これらの値は、測定条件が違うのでデータの比較は参考値としてください。

すから、食の安全を求め続けたいと私は考えています。神経質になるということではなく、情報を集め判断し、対策を見つけていくと

いうことです。

映画の中の言葉にありました「知る権利」が、消費者にとっても生産者にとっても重要な権利であるということを感じています。

遺伝子組み換えサーモンについて

小林茂樹

この映画の日本語版製作と配給をしている小林大木企画の小林です。

映画の中で取り上げられていた「遺伝子組み換えサーモン」、それがまもなく、私たちの食卓や回転寿司に並ぶかもしれない。

米国食品医薬局（FDA）が安全であると評価した。日本の新聞テレビでは報道されないが、米国では反対運動が広範な広がりを持ち始めた。反対のパブコメが200万も寄せられ、GM鮭は扱わないという大手のスーパも現れたからだ。でも発売されれば切り身となったり加工されて、遺伝子組み換え表示されない可能性もある。

そんな遺伝子組み換えサーモンの何が問題なのか。

感想
投稿

暴走生命
映画 &
トーク
セッション

黙っている

実験動物のように

K・S

遺

伝子組み換えという技術が世界をこんなにも不安と混乱に陥れているとは。科学は人の幸せのために使われてこそと思うが生命さえもお金もうけのために特許を取って支配しようとする考え方には悲しくなる。

米国のモンサント等の《多国籍企業が世界を支配するために食物の始まりである種子を扱うのだ》ということをヴァンダナ・シヴァ博士のような勇気ある方がはつきり言ってくれて戦っているのは有難いことだと思う。

隣の畑からの遺伝子組み換え菜種の種子が飛んできて有機農業ができなくなってしまうとは一度自然界で混じってしまうと取り返しのつかないことになるというのを感じた。放射能の被害にあった福島農家の姿とも重なった。

牛

の皮膚をした豚とか大きく育ちすぎてまともに動けなくなつた豚とかは不自然すぎる。昔見た映画を思い出した。「ドクター・モローの島」という孤島で動物を人間化する研究をしている博士が出てくる映画だ。結局モロー博士は自分が作った獣人に殺されてしまう。モンサントだけが同じ運命になるのならまだしも

私たちが結局暴走する生命に逆襲されることになりかねない。過去に本来草食の牛が肉骨粉を混ぜた餌を与えられたせいで発症した狂牛病というのも起きている。人間が自分の都合で自然に反する操作をしたら怖ろしいことが起こる可能性がある。

半

年で六倍の大きさに生育する遺伝子組み換え鮭を開発したアクア・バウンティ社副社長が野生魚と交配するのを防ぐため不妊化して繁殖できなくすると言っている。私の素人考えだがこんな鮭を食べたら人間もやたら巨大になってしまうのではとか子どもが生まれなくなり絶滅してしまうのではなんて考えてしまう。

◇◇◇◇◇

トークセッションではまた驚かされた。

遺伝子組み換えには抵抗があ

り、スーパーで買う場合、豆腐や納豆等は「遺伝子組み換えでない」と表示があるのを見て安心だと思つて買っている。表示のない菜種油とかはあまり考えないで買っていた。表示がないということは危険だと思った。認可されているもの以外から作られている製品を選ぶとよいというアドバイスは参考にした。

食

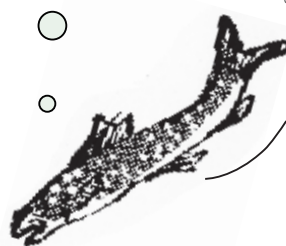
糧安全保障の面からも国内の自給率をさらに引き下げられる可能性の高い T P P には反対だ。遺伝子組み換えの物がどんどん入ってきてしまうという心配からも反対だった。でも既にこんなにくさく入ってきてしまつてるということは知らなかった。日本人が世界で一番遺伝子組み換え食品を食べるなんてショック。

種のとれる固定種は守つていかなくてはならないと本当に思う。万一、一代限りの遺伝子組み換えの種しか選択肢がなくなつたときは法外な値段をふつかけられる可能性もある。食べ物値段も高くなり払えなかつたら飢えて死ぬという可能性も出てくる。

私

たちは黙っていると遺伝子組み換えの実験動物のようにされたままなのだと思うとくやしい。特に子どもたちや声を上げ

られない弱者は守らなくてはいいけない。何の責任もないのだから。これも放射能と同じだ。今すぐ現れなくても何十年後、何世代後にどうなっているか。影響は計り知れない。



根本治療を優先してほしい

F・A

飯能市農林課の目指すのが「耕作放棄地解消」であるのはわかりましたが、その解決方法を「家庭菜園制度の促進」におかれているのかと理解しました。しかしそれは、日々先祖から受け継いだ農地を守って奮闘努力している現業農家の方々にとっては、販売額の低下につながりかねません。農家は農業従事者の高齢化や大規模農家の会社化、そして大企業の農業参入等によって悲鳴を上げています。農協も農林課も根本治療を優先してほしいというのが私の意見です。

（部ページより）

遺伝子組み換えは 目的の遺伝子を入れるだけでなく、その遺伝子のスイッチを入れたり切ったりする調節用の遺伝子も組み込む。遺伝子組み換えサーモンの場合、キングサーモンの成長ホルモンを作る遺伝子と、凍らないたんぱく質を作るゲンゲ（深海魚）の遺伝子をつなげて、大西洋サーモンに組み込む。すると寒い冬も一年中、死ぬまで大きくなり続ける。これは魚にとつても、体に良いわけではない。それを食べたヒトにもアレゲンの心配が言われている。未知のたんぱく質が含まれる可能性があるから。微量でもアレゲンとなる。「微量」——これはこの時代を生きる私たちにとって、常に注意を払うべきキーワードだ。



「暴走する生命」（ドイツ／デンクマル・フィルム）より
半年で 6 倍成長する遺伝子組み換えサーモン（上の魚）
映画の問い合わせは小林大木企画へ Tel 042-973-5502



■孫・子供達の未来を考えると一生死ぬまで厳しい目で問題意識を持ち続けていきます。消費者が変わらないと、愛する人の命はすくえないのです
60代 女性

■私は Non GM（遺伝子組み換えでない）のものを食べている。でも人間レベルだけで済む話ではなかった。この映画で人間だけでなく生態系すべてを狂わせるということを知りました。科学の進歩が間違った方向へ進みつつあることに危機感を覚えました。……飯能発信の食の安全の形ができてくると思います。
40代 女性

■農業に対する考えが変わりました。やろうと思っても踏み出せないところがあるので、きつかけにしたいと思います。
30代 女性

■鮭の成長の違い、牛の皮を持った豚等、映像で見て衝撃を受けま

した。……豆腐はほとんど遺伝子組み換えでない。とあります。表示が義務付けられているものを優先に国産品を用い、それ以外に輸入大豆が利用されているのでしょうか。地産地消を提案している農林課の方など、自然を大切にする方々のお話を伺えてよかったと思います。
女性

■植物だけでなく、動物や魚にも遺伝子組み換えが広がっていることを知って驚きでした。……細かいところを聞けてよかった。市と連携してこんな活動をしている飯能市は素敵だな。と思いました。
40代 女性

■重く受け止めました。いのちに對して人はもっと謙虚であらねばと思います。世の中の事は一人一人に責任があると感じました。
30代 女性

■ある程度は知ってはいたが改めて見ると本当に恐ろしい。「遺伝子組み換え」の言葉は聞いていても内容をよく知る人は少ないと思うので他にも機会を設けて上映してほしい。飯能市民環境会議で年一回、環境映画を上映しているの

で、ここでもやったらどうでしょう。うか。とにかく一人でも多くの人に見てほしい。

これだけ農業やろうという市民が多く、市民農園がいっぱいならば、もっと市民農園用の土地を増やしてほしい。
女性

■正確な情報を得ることのむずかしさを感じた。モンサントの動きと FDA の動き／自分を守ることのむづかしさ
60代 男性

■とても勉強になりました。知らないということはとても怖いということ。
50代 女性

■私たちは自分のすることが何につながっているのか考えることができます。だから真実を求める。世界が広がった。……学ぶということは、隠された悪を拒むこと。愛を求める事、生きることではないでしょうか？
15才 男性



飯能市クリーンセンターの建て直し工事が始まっています。

排ガスの重金属の測定を！



焼却炉の環境への影響を考慮するために、1月29日「彩の国資源循環工場と環境を考えるひろば」の加藤晶子さんに来ていただき、ごみの焼却と市民による環境調査についてお話をうかがいました。

寄居町にある彩の国資源循環工場には埼玉県が民間リサイクル企業を誘致して焼却炉を持つ施設もあります。松葉が空気と一緒に取り込んだダイオキシン類や重金属を分析する調査では工場が稼働する前とそれ以降では明らかに違いが出ています。

排ガス中の重金属は現在の法律では測らなくてもよいことになっていますが、計測器を設置した東京都では水銀が基準値以上出て、また、ダイオキシンを連続して計測している所沢市でも基準値以上の数値にそれぞれ操業停止という事態が起こっています。

飯能市でもちゃんと測定しなくてはと思います。（川野安紀子）

飯能市消費者団体連絡会●主催

夏の映画上映会

シリーズ「教えられなかった戦争」 高岩仁監督

飯能市市民活動センター多目的ホール 市役所駐車場をご利用ください

2014

8月24日 ① 11時～「戦争案内」70分
13時～「教えられなかった戦争■沖縄編」110分

9月7日 ① 13時～「教えられなかった戦争■中国編」98分
15時～「教えられなかった戦争■フィリピン編」110分

参加費 500 円（1 日） 保育あり / お問い合わせ 090-5324-6412 川野

戦争とは何か？
なぜ戦争をするのか？

あどき 誰もが何らかの「遺伝子の極少数派」であることはあり得る。GM、添加物、放射線等に対する感受性が。例えば日本人人口の1%ならば、制度的に切り捨てられるかもしれない。でも食物を取り込み「消費」することは、「私」が基準だ。そこからものを考え、行動したい。
(KO)